

第3回 豊山町総合計画審議会議事録（公開用）

1 開催日時 令和元年6月6日（木）午前10時～午前11時45分

2 開催場所 豊山町役場2階 会議室1

3 出席者

(1) 豊山町総合計画審議会委員

委員 中部大学工学部 教授	豊田 洋一
愛知学泉大学現代マネジメント学部 教授	堀田 裕子
文化協会 会長	安藤 敏夫
社会福祉協議会 会長	井上 博司
老人クラブ連合会 会長	江崎 弘
J A尾張中央豊場支店 豊場支店長	櫛田 和裕
子ども会連絡協議会 会長	鈴木 育生
防犯協会 会長	高栞 峯夫
体育協会 会長	戸田 久晶
とよやま女性の会 会長	中村 百合子
豊山町商工会 会長	山田 敏文
公募	竹内 智恵子
公募	渡邊 勝利
三菱重工業株式会社 渉外担当課長	小形 浩
セントライ青果株式会社 代表取締役社長	小坂 芳則

(2) 事務局

副町長	鈴木 邦尚
理事	伊井 誠
総務部長	小川 徹也
総務課長	鈴木 雅之
総務課 財政・管財係長	中川 徹
総務課 企画・情報係 主査	牧野 礼男
総務課 企画・情報係 主事	早稲田 陽子

(3) オブザーバー

ランドブレイン株式会社名古屋事務所	伊藤 克洋
ランドブレイン株式会社名古屋事務所	野口 道代

(4) 傍聴者

2名

4 欠席者

名古屋大学未来社会創造機構 特任助教	井上 愛子
交通安全協会 副会長	伊藤 邁
消費生活研究グループみのり会 会長	鈴木 征美
公益社団法人豊山町シルバー人材センター 会長	寺町 逸視
J A西春日井青山支店 支店長	半谷 国大

5 議題

(1) 第5次総合計画基本構想1次素案について

6 会議資料

- ・資料1 豊山町第5次総合計画の全体構成（検討資料）
- ・資料2 まちづくりの基本理念と将来像について
- ・資料3 第2回豊山町総合計画審議会における質疑事項につきまして
- ・土地利用構想
- ・参考 本日の審議会の位置づけ

議事内容

(1) 会長あいさつ

【課長】 定刻となったので、第3回豊山町総合計画審議会を開始する。会議次第に沿って進行する。最初に会長に挨拶をお願いします。

【会長】 審議会に関わり始めて、以前よりも新聞で豊山町に関する記事を見る機会が増えたように感じる。本日から草案の内容に関する議論になるので皆さんからの忌憚のないご意見ををお願いします。

【課長】 資料については、事前に送付させていただいている。お持ちでない方は申し出ていただきたい。本日の出席委員は20名中15名であり、半数以上の出席であるので町総合計画審議会規則第4条第2項の規定に基づき成立していることを報告する。本日は副町長の鈴木も出席しているのでよろしくをお願いします。進行は会長をお願いします。

(2) 第5次総合計画基本構想1次素案について

【 会 長 】 お手元に配布してある次第に従い進行する。第5次総合計画基本構想1次素案について事務局より説明をお願いします。

【 主 査 】 資料の確認。資料1から資料3に基づき説明。

【 会 長 】 ただいまの事務局からの報告に対して、大きく3つに分けて協議をお願いしたい。まずは、まちの将来像について。基本理念は第4次総合計画を踏襲し、将来像は現状に合わせて変えているとのことだが、そのあたりについて議論をお願いします。

【 A 委員 】 「暮らし」という言葉を漢字で統一することだが、何か意味があるのか。

【 主 査 】 漢字表記の方が分かりやすいという理由である。

【 会 長 】 アーバンビレッジという言葉は素敵な言葉で、前回から踏襲していて良いと思うが、この言葉はどの程度町民に浸透しているものか皆さんにお伺いしたい。

【 B 委員 】 暮らしやすくなってきているが故に、自治会の活性化がどんどんなくなってきているのを感じる。自治会に入らなくても快適に暮らせてしまうと感じる。

【 会 長 】 アーバンビレッジという分かりにくい言葉が使われている。私は専門的な立場から素敵だと思った。アーバンの都市の部分とビレッジの村の部分の良いところの結合だと思っている。経済一辺倒から人間中心にシフトしようという考え方を示していて良いと思う。それを端的にアーバンとビレッジという言葉で象徴的に表している。

【 C 委員 】 会長のように、「アーバン」と「ビレッジ」という言葉の意味を分かれば良いが、どこまでそう感じられるか。

【 会 長 】 皆さんも暮らしやすいまちだなと体感していると思うので、この言葉を使っているからには、皆さんの中でアーバンビレッジという言葉をもっと自分のもっとして浸透していただければ良いと思う。

【 C 委員 】 第4次後期計画から第5次総合計画に移行するに当たって、もう少しインパクトがある何かアピールできるものを入れてほしい。第5次計画の内容が第4次計画を少し修正した程度のもに感じられるので、もっと強いアピールをしていただきたい。

【 会 長 】 踏襲していくのは大事なことだが、何か第5次計画としてインパクト

のあるものを入れた踏襲をしていかないといけない。何か考えはあるか。

【 C 委員 】 資料にある土地利用構想図や第4次後期計画との違いがあまりないので、今の豊山町の立地の項目である航空機産業や自然の公園、北部市場をもう少し都市の軸として、今の交通や歩道とうまく関連できるようになれば良いと思う。

【 理事 】 今のご意見に補足させていただく。資料2の右側のまちの将来像の設定の考え方に記載しているが、あまり変わっていないとのご指摘をいただいたが、事務局としては大きく変えたと考えている。町民討議会議でいただいた意見等を踏まえて、その結果一番強く打ち出したい「一人ひとりが輝くまち」を考えている。今までの現行の計画では「にぎわいとやすらぎのアーバンビレッジ」という「まち」にスポットを当てていたが、第5次計画では一人ひとりの皆さまの暮らしというか、皆さま自身にスポットを当てた将来像を提示している。

【 C 委員 】 今の説明にあった「ひと」とのつながりを踏まえて、先ほども意見があったが、もう少し自治会や自治区でのサロン活動等、狭い範囲での活動に参画しやすいようなまちづくりを行政には進んでやっていただきたい。

【 D 委員 】 資料2の右側だが、町民討議会議とあるがどういった会議だったのか。

【 主 査 】 毎年開催していて、町民2000名を無作為に抽出し、通知のうえ、参加をご希望される方に議論いただくものである。無作為なので老若男女様々な方に参加いただいて、ワークショップという形でグループに分かれて自由に議論いただく。

【 D 委員 】 それを豊山町の今後の政策に活かすということだが、この会議とどういった違いがあるのか。

【 主 査 】 1回目の審議会でも策定体制として申し上げたが、審議会や町民討議会議などの住民参画の機会を様々設け、総合計画を策定することとしている。また、前回の審議会でも申し上げたが、町民討議会議では無作為に選んだ町民のため、普段あまり行政とは関わりがない様々な町民の方々にも自由に話し合ってもらえる場となっている。審議会では専門的な委員に集まっていただいて議論をしていただく。

【 D 委員 】 最終的には両方の意見を踏まえた上で調整しまとめるということによるしいか。

【主 査】 住民参画の機会としては、その他にもアンケートや有識者懇談会等の機会を設けて、町民のご意見を踏まえた上で策定していく。

【会 長】 総合計画を策定するに当たり、様々な方々に参加していただいている。町民討議会議等は直接的に意見の集約の機会となっているのかなと思う。

第4次計画から第5次計画に移行するに当たって、「にぎわい」寄りから「暮らし」が中心になっていて、よりアーバンビレッジにシフトしているように思う。今後は具体的な施策で裏付けていく必要があるが、まずはキャッチフレーズとして大事な転換かなと思う。まちの将来像についてはこれぐらいでよろしいか。

【会 長】 2つ目のまちづくりの目標として、基本構想の2番目として重点目標を3つ掲げ、それをさらに7つの基本目標に分解して、それぞれの考え方を示すことになっている。この点について、どのように第4次計画から第5次計画に基本目標を組み替えて行くかについて説明があった。このあたりも先ほどの第4次計画から第5次計画への転換に際して、位置づけを組み替えていくという新しい考えを盛り込んだ説明があった。その点についてご意見・ご質問等があればお願いしたい。

【E 委員】 まちづくり指標の人口世帯についてだが、第4次計画の目標が15,600人であり、第5次計画の目標が16,400人となっているが、今日の新聞によると、まだ話は確実とはなっていないが三菱重工業がカナダのボンバルディアを買収して一緒に生産していくという記事があった。そうになると、人口も増えると思うが、その点も踏まえて土地利用はどういうふうになっていくか気になる。

【理 事】 現状では人口は15,800人を少し切る程度になっている。三菱や主要事業者とはヒアリングをさせていただいている。前回議論したが、豊山町は転入による人口の社会増が多い。この流れは今後も続くだろうとの想定が前回議論された。ヒアリングによると、三菱の事業の今後の展開として、今後MR Jの本格的な生産が始まるが、大きく設備投資をして工場を拡張したり、外国人を含む大勢の技術者やスタッフを増やしたりといったことは現時点では考えていない。大きく増えるわけではないが、今の増加傾向はこれからの10年間は継続するだろうということで、16,400人という数字を示させていただいている。

- 【 C 委員 】 順調に増加傾向で良いと思う。
- 【 会 長 】 まちづくりの目標、7つの基本目標、3つの重点目標については何かご意見はあるか。
- 【 B 委員 】 産業のにぎわいを生み出す個性豊かなまちというのは具体的にはどういったことか。
- 【 主 査 】 具体的な施策はこれから審議し詰めていく。まちづくりの主要課題という部分に、現時点での課題認識をまとめている。大きくは4つの課題ではあり、これらの課題を解決していきたいと考えている。大企業、中小企業を含めて皆さんでにぎわいを生み出していけたらと考えている。
- 【 理 事 】 豊山町は現在航空機産業が盛んであるのでそれを活かした施策や、観光ではミュージアムもあるので、そういったもののにぎわいを生み出すものとして施策を検討して実施していきたいと考えている。
- 【 B 委員 】 青山でもうちょっと何かできたらいいのではないかな。せっかく公園にも人が来ているので、バス等も考えてはどうか。
- 【 会 長 】 大きな方向性を決める上で、「にぎわい」と「個性」をキーワードに産業を考えてから中身を詰めていけば良いと思う。目標1～7の順序を入れ替えたのには何か意味があるのか。重みづけなどあるのか。
- 【 主 査 】 今回将来像を「暮らし」に焦点を当てたので、それに合わせて目標も暮らしに近いものの記載順を上げた。しかし、いずれの目標も重要度には変わりはない。
- 【 会 長 】 重みづけは一緒だが、イメージで「暮らし」を前面に出しているので暮らしに関連するものから記載して分かりやすくしたということによるのか。
- 人口が先ほど話題にあがったが、3まちづくりの指標として数値目標をあげているが、他にも4土地利用構想、5基本構想の推進のためにも何かご意見・ご質問等があればお願いしたい。
- 【 F 委員 】 これから具体的に進めていくのだろうが、5基本構想の推進のための「計画の進行管理」について、町民が一つひとつ実感できるように開示していく必要があるのもっと深く掘り下げてほしい。たとえば、大きな企業や都市計画、マスタープランは開示されているが、小さなところでは先ほども意見があったが自治会の問題や景観の問題等の小さな問題にも逐一進行管理をしていく必要があると思う。

- 【 会 長 】 現時点で回答できることはあるか。
- 【 主 査 】 重要なお意見をいただいた。実際に作った計画を絵に描いた餅で終わらせないためにも町民の皆さんともしっかりと共有していただくことが重要だと事務局でも考えている。具体的な進行管理については、今後示させていただくが、現時点の第4次計画の進行管理に関してはホームページに掲載している。このように皆さんに公開しながら進めていけたらと思う。
- 【 会 長 】 10年の総合計画の大きな枠組みとして、5年ごとに見直しということだが、その枠組みについて説明があればお願いしたい。
- 【 主 査 】 総合計画の基本構想は10年間だが、それを基に基本計画が前期と後期に分けて5年ずつ、その下位として実施計画があるが、実施計画については毎年度見直したものを公表している。
- 【 会 長 】 総合計画そのものが大きなもので10年と長いものなので、毎年あるいは5年ごとに大きな見直しをしていく必要がある。
- 【 G 委 員 】 土地利用構想の基本方針3に神明公園や大山川を利用してとあるが、朝たまに散歩しているときに大山川を通っているが、工事が始まって途中のように感じるが工事は続くのかどうか。
- 【 係 長 】 現在、神明公園前の大山川堤防道路は、水と緑の軸という位置づけになっている。現在工事が止まっているのではないかというご質問だが、車道と歩道を分離して住民や歩行者が安心して通れるように継続して実施していく計画になっている。
- 【 G 委 員 】 堤防は車通りが多く狭いので、人は歩けないように思うがどうか。
- 【 係 長 】 そういったこともあり、堤防の上を人が歩けるようにして歩車分離を進めているところである。
- 【 C 委 員 】 大山川の堤防道路を下に移す計画段階だが、近隣の住民と堤防に上がる人の動きと安全確保のために車のスピードを制限して頂きたい。コミュニティ道路等あるが、計画の中に考えていただきたい。
- 【 係 長 】 堤防道路に限らず狭隘な道路での車の通り抜けが多いので、交通安全対策に関しては今後計画として検討していく。
- 【 A 委 員 】 土地利用構想図の中の広域交流拠点というのはどういったイメージのエリアなのか。
- 【 主 査 】 現在大型商業施設や航空展示施設がある。町内外から多くの方が集まって交流する拠点として位置づけている。

- 【 H 委員 】 産業機能拠点というのは、工業誘致等をする予定か。
- 【 主 査 】 幹線道路のアクセス利便性を活かして、産業機能集積の拠点として位置づけている。今後誘致を含めどのような施策を実施するかは今後決めていくことである。現況では物流倉庫がある。
- 【 C 委員 】 広域交流拠点の横に航空ミュージアム、三菱の組み立て拠点や北端にboon等、様々な施設があるが、広域交流拠点と食の流通拠点を歩いてつなげるような何か軸がほしい。
- 【 会 長 】 それと関連するかもしれないが、食の流通拠点として北部市場があるが、航空産業と北部市場が豊山町の個性と感ずる。豊山町民あるいは町にとっての北部市場はどういった意味があるのか。
- 【 C 委員 】 現在は年に1回市場開放をしていて、近隣や地元の人が集まる。その程度かなと思う。
- 【 I 委員 】 北部市場は、築地から移転した豊洲市場と業態は同じで、鮮魚、青果ともに取り扱う中央卸売市場である。開設は名古屋市である。中央卸売市場は消費者の多く集まる名古屋市のような都会に、国内、国外を問わず、全国で生産される青果物や、魚を集荷している。名古屋市が開設する市場は、北部市場、本場、南部市場と3つの市場がある。北部市場（豊山町）は交通アクセスはあまり良くないが、インターにも近く、トラック輸送の点では利便性が高い。これから市場が変わっていく中で今後物流の拠点として東海、北陸地域の中心的存在になりえる可能性は高い。そういった拠点市場となれば全国的な市場としてアピールポイントとなると思う。卸売市場の基本は、BtoBですが、市場近くに商店街を作り、鮮度の高い、価値のある、青果物や、魚を一般消費者に提供することも可能であり、豊山町の活性化につながると思う。その為にも、豊山町に来るための交通アクセスを良くする必要があると思う。
- 【 F 委員 】 有用なポイントだと思う。
- 【 会 長 】 BやCとはどういった意味か。
- 【 I 委員 】 BはBusiness、CはConsumer、消費者という意味となる。
- 【 C 委員 】 北部市場の中はBtoBということだが、実際、周囲の流通の会社が商売をしている。
- 【 I 委員 】 寿司屋や量販店に売っている流通経路があり、わかりづらくなっている。

- 【 C 委員 】 最近は市場に名古屋から来る人も少なくなっている。広域交流拠点とあるが、食もそうだが観光における航空ミュージアムや三菱ミュージアム等、ものをつなぐ軸、足も含めてつながりを町の目玉にさせていただきたい。
- 【 会 長 】 常に豊山を語る時、航空と市場はいつも並列して出てくるが、住民の方にはどう浸透しているのか疑問に思う。このあたりにご意見はあるか。
- 【 I 委員 】 お祭りは市場を理解してもらうためにも行っている。
- 【 J 委員 】 住民の主婦の感覚だと市場前においしい寿司屋がある程度の感覚である。あまり自分たちの生活に近いものとして北部市場を意識したことはないのが実感である。
- 【 会 長 】 全体を通してのご意見・ご質問等があればお願いしたい。
- 【 K 委員 】 町民意識調査の中で、町外へ移りたい理由の一つに交通の便の悪さがある。私は豊山町の交通の便の悪さに慣れてしまっているが、名古屋駅に出ようとする高速バスはあるがお金がかかる。名古屋市には敬老パスがあり、うらやましく思う。大都市名古屋と比較するのは難しいが、豊山町の住民が名古屋市の交通を利用する時にちょっとした支援などの仕組みがあると良いと思う。
- 【 B 委員 】 第4次総合計画を終えて、行政的にはどのような手ごたえがあるか。踏襲せざるをえない点が多々あるように見受けられる。そこで、第4次計画で計画の進行管理をどのように考えているのかのようなご意見があるのだと思う。
- 【 H 委員 】 空港があり、MR Jを作ることになって就労人口が増えた。コミュニティ道路を作る施策やスピードを落とす施策などは何年も前から言われているが、第4次計画の時にはそういった話はなかったのか。見る限り、交通量が増え、渋滞が深刻化しているように思う。
- 【 副 町 長 】 三菱のおかげでもあるが、交通量は増えた。昼間人口が多く、交通の面では不便をかけているが、解決するために道路の通行規制などはしている。守っていただくのが前提ではある。昼間人口が増えるのは良いことなので、それを活かした事業が第5次計画ではもう少しできたらと思っている。また、基本構想は大きく変わるものではなく、補強しつつ新しい施策を行うのが行政の基本的なスタンスであると考えている。
- 【 C 委員 】 まちづくりの指標だが、人口・世帯数は記載されているが、まちづく

り重点目標に関する指標はこれから検討をしていくということか。

【 会 長 】 ここに示されているのは第4次計画のものになる。第5次計画のものはこれから設定されていく。現在の成果はどうか。

【 主 査 】 町政に関心のある住民の割合の現状値は65.7%で未達成。まちづくりに参加意向がある住民の割合は40.7%で未達成。15歳未満人口の構成割合は16%で達成。製造品出荷額等は1436億円で達成。商品販売額は2377億円で未達成。豊山町は住みやすいと考える住民の割合は84.4%で未達成。今後も豊山町に住み続けたいと考える住民の割合は60.2%で未達成。

製造品出荷額等に関しては達成できているが、人や生活空間がキラリと輝くまちづくりに関しては達成できていない現状となっている。そのため、第5次計画では、より「暮らし」に焦点を当ててまいりたいと考えている。

【 会 長 】 継続という意味も含め、新しく「人」や「暮らし」にシフトしていき、それらを重点的にやっていく。基本的な考え方は大きくは変わらないということを進める。

【 J 委員 】 会議のはじめのほうで、アーバンビレッジが町民に浸透しているかということだったが、まだ知らない人や意味が分かっていない人も多いと思う。私も専門的に説明できるとは言いがたい。専門的な知識は町民には必要ではないと思うので、まちで取り組んでいる理想像はこういうことだと感覚的にもわかるよう伝わるようにしてほしい。せつかく15歳未満の人口が増えているので、子どもたちにも、まちが行っていることを分かるようにしてもらえると、将来のまちも違ってくるのではないかな。より多くの住民に、まちが掲げていることを簡単な言葉や動画、絵等の感覚的なものでわかりやすく伝えていくと、もう少し住民の意識が向く。住み続けたいと思うには、行政との信頼も必要なので、こういった会議で真剣に話している内容を住民にも分かりやすく伝わるようにしていただければ、繋がりが深まると思う。

【 会 長 】 大事な発言だと思う。絵に描いた餅ではなく、分かりやすい言葉で町民に伝え信頼関係を築くのは大切である。ある町で子どもたちに伝えるために、中学生に集まってもらって勉強会をして、子どもたちの総合計画を作ってもらったことがある。子どもたちに伝わるような表現で50頁くらいの冊子にまとめて子どもたちに配布してもらった経験がある。町

民を育てる意味で将来的に考えると、子どもたちに向けての発信は大事だと思う。アーバンやビレッジはあまり馴染がないが、言葉の意味さえ知っていれば感覚的にもわかると思う。

ほかにご意見はあるか。

【 A 委員 】 土地利用構想の基本方針2で広域交通体系に恵まれているとあるが、町内の車の進入問題や渋滞の問題があるが、これまでは経済活動とか産業界に重点を置いた道路や交通網の整備が行われていた印象を受ける。第5次計画では、住民のための利便性、安全、生活の中での交通にシフトした計画を作っていたらと思う。

【 会 長 】 まちの将来像等では住民主体と掲げてはいるが、細かく見てみると様々な問題がある。そういった細かいところを一つひとつ潰していかないと大きな将来像には近づけない。そういった具体的な計画をこれからやっていただきたい。言葉だけではなく、実態が伴ったものをより具体的にやっていくことが必要である。

時間が来たので終了する。委員の皆さんからいただいたご意見を基に、第5次総合計画基本構想2次素案をお願いしたいと思う。

(3) その他

【 主 査 】 次回の審議会の日程は、8月8日木曜日を予定している。本日の議事録の公開は前回同様作成後に委員の皆さんに送付した後、委員の名前を伏せた上でホームページに公開する。

【 課 長 】 以上をもって、第3回豊山町総合計画の審議会を終了させていただく。

以上